

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3 年 6 月 4 日 更新

事務事業名		公共施設整備支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1 自治の健康				所属部	総務部	課長名	坂本 卓博
	施 策	2 行政改革の推進				所属課	管財課	担当者名	栢 裕介
	施策の柱	12 公有財産の管理運営				所属班	施設整備支援班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 7	事業連番 11773	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☒ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 2 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	2019年度に策定した公共施設個別計画に基づき、公共施設の大規模改修、解体等を行っていくもの。(市営住宅、学校施設、上水道施設、下水道施設は除く) ※令和3年度より学校施設についても対象とする。
【業務の流れ】	①次年度事業の確認 ②予算確保に伴う協議及び見積徴収 ③施設所管課による予算確保 ④事業発注
【主な予算費目】	旧中央公民館解体工事 工事費：24,492千円 委託料：2,517千円 季刊誌 消耗品：38千円 施工管理に伴う公用車借上料 使用料・賃借料：327千円 燃料費：56千円
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市保健福祉センター「ふれあい館」空調機器更新工事、非常用自家発電設置工事及び屋上防水改修の設計及び工事を実施した。合志市総合健康センター「ユーパレス 弁天」特定天井改修工事及び温泉熱利用設備導入工事を実施した。合志市の森小放課後児童クラブ新設の設計及び工事を実施した。旧黒石市民センター解体及び黒石体育館の改修の設計及び工事を実施した。 【基準に達しなかった理由】 令和3年度へ以下の金額を繰り越したため 工事給費費 旧中央公民館改修 6,787千円		ヴィーブル文化会館改修設計、妙泉寺体育館床改修工事、人権ふれあいセンター改修設計及び工事、西合志東小学校給食棟改修設計、西合志第一小学校大規模改修設計、西合志中学校増築設計、旧中央公民館改修工事
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 実施事業件数	件	旧中央公民館の工事が完了したことによる減
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
公共施設		→ ア 実施棟数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
施設の長寿命化を図る		→ ア 事業完了件数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民に信頼される組織になる		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	実績(決算)	実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標		ア イ	件				10	10	8	8	9	14
② 対象指標		ア イ	棟				5	5	9	14	18	27
③ 成果指標		ア イ	件				10	10	8	8	9	14
投 入 費 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円			10,900					
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円			4,506	3,026	425	600	600	600
	人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	(A) 事業費計	千円			15,406	3,026	425	600	600	600
			(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
			延べ業務時間	時間			0	7,300	0	0	0	0
			(B) 人件費計	千円			0	28,783	0	0	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円			15,406	31,809	425	600	600	600

事務事業名	公共施設整備支援事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は 2 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 今年度計画していた改修及び工事を完了した。
	② 3 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 次年度計画の改修設計及び工事の完了を目指す。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 個別計画に基づきながらも、施設の劣化状況により改修計画を検討を行っていくことで成果向上余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 主な公共施設の大規模改修、解体等を行う事業は他にはない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現段階における必要最小限の予算を計上している。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の職員で実施しているため、削減の余地なし。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公共施設の長寿命化等をおこなう事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共施設管理に関するものであり、他に移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

公共施設の劣化調査を行いながら、必要に応じて個別計画を更新し、施設の長寿命化を確実にしていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 施設所管課との連携を密にし、維持管理を行っていく。																							